

■ クオリティー傾向

ハイテクなテクニカルを駆使した織組織、刺繍の表現による派手さを控えたハイクオリティーな素材の傾向とハンドメイドや不揃い、アナログといったロウテクな味わいを持つ素材やディテール。その双方に付加価値の高さを感じる。

上質感は控えめな仕上がりで上品さなメージにテクニックを駆使。鈍い光沢+柔らかな立体感のあるジャガード/薄地カーテンに刺繍とテープロープの張り付け/透明感+柔らかな立体感のあるジャガードや細かいピッチのフロントカット/マットな光沢プリント(高)の厚地と薄地。



インディアンクラフトのファッション性の高いセンスと最新技術とハンドワークを掛け合わせたテクニック。ハンドメイドの刺繍やレリーフ、フリンジやテープの副資材の複数の組み合わせ、一見無造作に見えるアップリケ、天然素材の味わいを生かし、シンプルでエレガントな仕上げ(チェックの Patchワークやドット刺繍でさりげない効果)



一見してシンプルでベーシックなテキスタイル。見た目以上の柔らかさ、軽さ。ウール、モヘア、ブークレの天然素材の使用、ヘリンボンやミニマムなジャガード、メンズ調のミニマム柄(細かいチェック&ストライプ、グレンチェック、チドリなど)



リサイクルテキスタイル
シーズの端切れやラベルのみを Patchワークし1枚の布に再生。毛糸の編み物のパーツの寄せ集め。毛皮を切り抜いてアップリケにしたものなど(ゴミのようなものから、新しいものへの再生)



■ スタイル傾向

縫製テクニックによるスタイルデコレーション、カーテンツールの技術進化によるスマートでシンプルな窓辺の演出、ウォールステッカーでデザインする新たな空間演出、さまざまな面でインテリアがスタイルアップされる。

カーテントップのギャザー部分に立体的なボリュームのあるタックや花のレリーフを施したスタイルデコレーション。ボタンやテープリングをアクセントに施したバージョン。暖かみのあるアットホームなエレガントなディテール



カーテンパーツは、波長のようなウェーブでシンプルな形状を実現。より軽量で薄型化。電動カーテンも静かで小型化。



デジタルなフォトプリントによりアートフルなウォールステッカーが空間を飾る。取り外しやすく、パーソナルなスペースからオフィシャルなロケーションまで幅広く活用できる。

